

### 三、『格菴遺録』解説

#### 1、予言書の驚くべき正確性

また、「格菴遺録」の中でよく知られている予言に、三八線が塞がることに対する予言,<三八歌>がある。

" 十線反八 三八で 両戸亦是、三八であり、無酒酒店、三八で 三字各八 三八である。一鮮成胎 三八隔に 左右相望 寒心事.."

十字を引き、反八を加えると板になり、三八で、両方に戸を置くと門になり、是亦 三八で、酒の無い酒店も三八だから、組み合わせは ' 板門店 ' という南北分界線になって、三字が全部、三十八線の場所を予言している。一つである朝鮮が三八線に横たわり、左翼とか右翼で相対していることが寒心に堪えない。板・門・店、三字とも八画である。この偶然の一致を正確に掴んで表現する格菴遺録の予言は、それぞれ、神の作品だといえなくもない。

余りにも適中する予言で、啞然失色の驚きを禁じえない。いまから約四五〇年以前、十六世紀中半期に生きた南師古先生は、約四〇〇年後、三八線で朝鮮を分断して対峙することを、書くも詳細に記録しておいたとは……。そうかと思えば、日帝治下に置かれた韓民族に希望を持たせる預言を残してくれた。つまり、三八線が解かれ南北が統一されるときが来るというのだ。そのときがいつなのか？

" ……統合之年 何時 竜蛇赤狗喜月也 白衣民族 生之年である " 統一される年は“竜蛇赤狗喜月也”としている。竜蛇とは辰巳に該当し、赤

狗は丙戌を表示する。即ち、八八、八九年を期し、南北統一の気運が造成し始め、丙戌月に入るときに至り、白衣民族が生き返る年だと言うのだから、その日がいつなのか。一日も早く来ることを祈るや切なるものがある。このような南北統一に関する予言の解説は勝手に説くことは出来ないことは当然であろう。

#### 2、聖書との一致

格菴遺録は驚くほど聖書と具体的に内容が一致するのみならず、題目までも<羅馬単二(ローマ人への手紙 2 章を意味する)とか、格菴遺録の<賽四三章>は聖書<イザヤ書 4 3 章>を意味する等の如く、具体的に聖書の内容を指摘している。

このように、格菴の予言書を知るためには聖書を合わせ見なければならず、多くの予言書に普遍的に最も多く登場する ' 弓弓乙乙 ' や ' 鷄竜 '、また ' 十勝 ' 等はみな「勝利者」を指していることを知らねばならない。鷄竜とは世の中にある山の ' 鷄竜山 ' のことではなく、新しい時代を告げる新たな竜王、勝利者を表現したものなのである。

" 鷄龍 鷄龍 何鷄龍 紫霞山中金鷄龍 非山非野 吉星地 鷄龍白石 真鷄龍 十勝十勝 何十勝 勝利台上 真十勝 " (格菴遺録の中から)

鷄竜、鷄竜と言っているが、何が鷄竜なのか？紫霞む神仙境の金運が鷄竜である。山にも非ず、野に非ず、吉星の地鷄竜の白石が真の鷄竜である。十勝、十勝と言っているが、何が十勝か？勝利台上に立つ方が真の十勝である。

勝利台とは五輪の如き球技大会で優勝者が立つ台である。聖書にいう「勝利者」が、古書には「十勝」で表現されており、勝利者が受ける ' 白石 ' が真の鷄竜の意味と合致するのである。

"大陸東邦 海隅半島 天下―気再生身 利見機打破滅魔 人生秋収糴米 端風駆飛 糴飄風之人 弓乙十勝”(賽四一章から)

大陸の東邦、海の一隅、韓半島から天下の―気で創出したかたよ 視るだけで総ての魔鬼が打破され撲滅されるだろう、人生を秋収し、端風で吹き飛ばし つむじ風で吹き落とすかたよ 弓乙十勝、勝利者であられる。人生を秋収する弓乙十勝のかたは、曹(曹)氏姓で出現することを、漢文特有の重意法的な表現で暗示してある。糴から米を端風で駆飛すれば曹が残るが、まさにその人(糴飄風之人)が、正に弓乙十勝だという意味である。曹は、曹と同字で、姓氏の場合は、韓国では曹を使用する。

以上の詩句は格菴遺録の「賽4 1 章」の一部である。これは、聖書の「イザヤ書 4 1 章」の内容とほぼ一致している。韓国に基督教が伝播する遙か前の四五〇~四八〇年前に、どうして聖書の内容と一致する予言ができたのであろうか？それは、三〇〇〇余年前のイザヤの先覚が予言した神と、四五〇年前、南師古先覚が予言した神とは同一の神であることが考えられる。

イザヤ書 4 1 章の内容を抜粋してみると次の通りである。“だれが東から人を起こしたか。彼はその行く所で勝利をもって迎えられ、もろもろの国を征服しもろもろの王を足の下に踏みつけ”(聖書イザヤ書 4 1 章 2 節)“わたしは地の果てから、あなたを連れて

## 新しい時代 新文化運動と哲学

き、地のすみずみから、あなたを召して”(イザヤ書 4 1 章 9 節)“見よ、わたしはあなたを鋭い歯のある新しい打穀機とする。あなたは山を打って、これを粉々にし、丘をもみがらのようにする。あなたがあおげば風はこれを巻き去り、つむじ風がこれを吹き散らす。あなたは主によって喜び、イスラエル(勝利者の意)の聖者によって誇る。”(「イザヤ書 4 1 章 1 5～1 6 節)

#### 3、吉地に付いて

“鷄竜”或いは“弓乙十勝”“真人”等と称する「勝利者」は、“吉地”から出現することになっている。そこで、“吉地”といわれることは次の如く明示してある。

" 吉地吉地 何吉地 多会仙中是吉地 三神山下 牛鳴地 桂樹範朴是吉地 真人真人 何真人 真木化生是真人 天下―気 再生人 海印用使是真人 "

吉地、吉地いうが、どこが吉地なのか？ 神仙たちが多く集まる中に吉地がある。三神山下、牛が鳴くところ、桂樹と範朴が吉地である。真人、真人いうが、真人とは誰なのか？ 樹木の如き義人が、まさに真人である。天下の―気で創出した者で“海印”を使う者が真人である。この他にも“吉地”を表示してある文句は次の如く具体的に一致している。

" 始終良野 素沙地 三南第一 吉星地 月下弹琴 牛鳴声 脱却重生 变化処 "

始まりも終わりも素沙地、良方広野の素沙地、三南 第一の吉星地なり。月下で琴を弾るくに 牛の鳴く音却

を脱し、創出する変化処なり(牛の鳴く音とは母を呼ぶを意味するが、母は肉的な母でなく、霊的な母を意味する) " 非山非野 仁富之間 奄宅曲阜 玉山辺 鷄竜白石 平沙福処 武陵桃源 此勝地 平沙福地 三十里で 南門復起 南朝鮮に " (格菴遺録 歌辞 總論の中から)

山でもなく、野でもない 仁川 富平の間 人間も絶えた太い丘に 鷄竜白石の富平沙が福処である。武陵の桃源村、この勝利の地は 富平素沙の福地にして、南朝鮮の南大門から、更に始まって三十里である。また、聖書で救いを象徴する“神人”を“カンランナム”と言ったように、古書でもそれを柿木(カンナム、橄欖の樹)の音を借りて記録してある。

" 柿謀者生 衆謀者死 隠居密室 生活計 弓乙乙避乱国 " (格菴遺録 未運論中から)

カンランナムをはかる者は生きられ群をなす者は死に至る。“密室”に隠居する計策があるに 弓弓乙乙 勝利者が避難するところ。ここで“密室”というのは、老姑山と蘇來山が相望む盆地のことである。

#### 4、甘露の海印に付いて

" 十勝道霊 出世するに 天下是非 紛紛する " (格菴遺録 桃符神人の中から)

弓乙十勝の正道令がこの世に出現したので天下のは是非々が粉々する。" 天牛耕田 利在石井 弥勒出世

Subaru Kan / 新人類文化研究所長

## 정도령은 천지개벽의 마지막 주인공이며 감로해인으로 마귀를 죽여 선경세계를 건설하느니라



天道耕田是牛性 천도경전시우성
牛性在野牛鳴聲 우성재야우명성
天牛地馬眞牛性 천우지마진우성

궁을 궁을 하는데 무엇이 궁을인가? 천궁 지율이 궁을이다. 일양일음(一陽一陰)도 역시 궁을이다. 일양(一) 일음(一)은 십(十)자를 말한다. 자줏빛 노을 속의 신선이 진짜 궁을이다. 우성 우성하는데 무엇이 우성인가? 천도(天道)로서 마음 밭을 가는 것이 우성이다. 우(牛)자는 진인이 하나님을 모시고 있는 것을 의미한다.(牛=人+十) 하늘의 말 즉 천마(天馬)가 땅으

로 내려오면 지우(地牛)가 된다. 우성은 들에서 소 울음소리를 내하니 마음이 천지비(天地否)에서 지천태(地天泰)로 바뀐 즉 성령으로 거듭난, 천신이 하강한, 나를 이기고 마귀를 이기고 사방권세를 이기신 삼위일체 하나님을 모신 진인이 진짜 우

성이다.
鄭氏鄭氏何鄭氏 정씨정씨하정씨
滿七加三是鄭氏 만칠가삼시정씨
何姓不知無齋後 하성부지무예후
一字縱橫眞鄭氏 일자종횡진정씨
海印海印何海印 해인해인하해인
見不知而火雨露 견부지이화우로
化字化字何化印 화자화자하화인
無窮造化是海印 무궁조화시화자

정씨(鄭氏) 정씨 하는데 무엇이 정씨 인가? 7+3=10(十)이 정씨이다. 무슨 성(姓)인지 모르며 후예가 없다. 즉 뒤에 오는 분이 없고 정도령이 마지막 주인공이라는 의미이다. 일자종횡이 진짜 정씨이다. 일자종횡(一字縱橫)은 십(十)자이다. 해인(海印) 해인 하는데 무엇이 해인인가? 보고도 모르니 불, 비, 이슬(화우로-마귀를 이기신 하나님의 성신)이요 빛이다. 화자

화의 의미를 살펴보면 변(變)은 하나님이 땅으로 하강하는 것을 말하며 화(化)는 사람이 하나님의 뜻과 진리에 감화를 받는다는 의미이다.

따라서 여기서 말하는 변화란 세상에서 이해하고 있는 일반적인 변화를 넘어 근본적인 의미에서의 변화를 뜻한다. 전(6도 72궁)속의 하나님이 우전(又田) 즉 여인인 더 강하게 되고 변화전(變化田 6도 81궁)에 옮겨 오셔서 더욱더 강하고 차원이 상승되어 삼신일체(삼위일체)를 이루어 완성의 구세주하나님으로 좌정하심을 의미하니 성령으로 거듭남이 완전히 이루어 졌다는 것이요 진정한 도통을 뜻하는 것이다. 하나님이 5도 72궁의 묵운으로 오실

萬法教主 儒仙仙合 一氣再生 紫霞南鮮 葡隱後裔 柿木出聖 東西教主 假牧從民 不免羞恥 " (格菴遺録弓乙論の中から)

天牛가田を耕すに石井もよくなり、弥勒仏が出世するに万法の教主となる 儒仏仙が合致し一氣に再生するに南朝鮮に紫色の霞は葡隱の後裔である。眞牧者に従つた衆人恥を免れず。

" 似人不人 柿似真人 馬頭牛角 兩火冠木 "

人間のようで人間に非ず、柿木の如き真人である。馬頭に牛角の兩火冠木、榮萃なり。馬頭牛角とは、天は馬で地は牛という意味である。馬の頭に牛の角とは、天と地が合った天地相合の調和を指しているのである。

また、兩火に冠木とは、冠を被つた宋の上に火がともった形象だから、榮萃の栄になる。

そのかたは " 風雲造化任意用之 " で、風や雲を意の如くし " 不老不死甘露露 " で、死なず老いずの甘い露を雨の如く降らせる。

みなは“火は昇り、水は下る”と言っているが、このかたは " 水昇火降病却理 " と言って、水の気運は昇り、火の気運は降りてこそ(自己の慾望の反対の生活をいう)あらゆる病が消え去り、不老不死の身に昇萃すると言われた。

これが、つまり真正なる修道とし、 " 三人一夕修字理 " と表現している。三人一夕を合わせると ' 修 ' の文字になるのだ。

このかた、求世真人である正道靈を証明する“甘露海印”だが、海印とは石に刻んだ印章のことではなく、三豊甘露が海印だと正確に指摘してある。次の号に引き続き掲載

Subaru Kan / 新人類文化研究所長

격암유록 新 해설
수정판 제 4회

#### 1. 남사고비결 南師古秘訣

兩白兩白何兩白 양백양백하양백
先後天地是兩白 선후천지시양백
河圖洛書靈龜數 하도낙서영구수
心靈依白眞兩白 심령의백진양백
三豊三豊何三豊 삼풍삼풍하삼풍
非山非野是三豊 비산비야시삼풍
世人不知火雨露 세인부지화우로
無數大豊是三豊 무곡대풍시삼풍

양백 양백하는데 무엇이 양백인가? 선천과 후천이 양백이다. 양백은 하도용마(태백) 낙서영구(소백)의 역수(易數)가 양백이요 몸과 마음이 눈보다 더 희고 깨끗하니 참된 양백이로다. 양백에서 진인 정도령이 나오는 것이다. 삼풍 삼풍하는데 무엇이 삼풍인가? 비산비야(非山非野)인 소사에서 심승 하나님이 내리는 화우로(火雨露) 감로해인임을 세상 사람들은 모르는구나. 곡식 없이도 대풍(大豊)이니 곧 삼풍이나라. 화우로(火雨露)는 세상의 불, 비, 이슬이 아니고 마귀를 이기신 삼위일체 하나님의 성신(하나님의 빛)이다.

弓乙弓乙何弓乙 궁을궁을하궁을
天弓地乙是弓乙 천궁지을시궁을
一陽一陰亦弓乙 일양일음역궁을
紫霞仙人眞弓乙 자하선인진궁을
牛性牛性何牛性 우성우성하우성

<b>당신을 영생의 세계로 안내하는 신문</b>	
<p>성금계좌<span> </span>: 우체국 103747-02-134421 예금주<span> </span>: 이승우</p>	
<b>승리신문은 독자님들의 정성어린 성금으로 만들어집니다</b> <p><b>전국 각지에서 성금을 보내주신 분께 감사드립니다</b></p>	
승리신문	1990.3.3 등록번호 다 - 0029
발행인 겸 편집인 김중만	
본지는 구세주(정도령, 미륵불)께서 말씀하신 사랑함이 실제록 죽지않는 원리(영생학)를 누구든지 쉽게 배우고 실천할 수 있도록 소개하여 질병과 죽음이 없는 개벽된 세상을 만들고 진정한 평화의 세계를 구현하는데 기여함을 목적으로 발행됩니다.	
경기도 부천시 소사구 안곡로 205번길 37 <p>우 14679</p> <p>홈페이지 <a href="http://www.victor.or.kr">www.victor.or.kr</a></p>	<b>광고 및 구독신청</b> <p>전화 032) 343-9985</p> <p>FAX 032) 349-0202</p> 
본지는 신문윤리강령 및 실천요강을 준수합니다.	